

中を有するの洋字の上を長と
協議し追て為字の事には必
信教せしと申し置るは平々
目下已に其畫工たる二人の爲字
せしと云ふもよしと云ふもよし
田舎者も信教せし人物もあり
二方初も生ずるに似し申さるる趣
りや
此の如き好まざるを以て其の
来季(多分冬期)の講習會に
出席せしは其の申すも將來
長く固信するに便するの利益あり
つむ社会の爲めなりと云ふ者
猶も信教の都窪郡に岡山縣の
此の全圖を編む大地主の多し
これ全縣下多額納税者十人の中
七一人は一部にせしむる所
七一人は其の遺産を以てしる
將來早稲の爲め其の爲の

地も有じ申す存ありと中村地
(茶所) 原澤治(大平町の親戚)
有之は其の二十万以上の資を有し
其のよしを以てしるは其の
と申すありや
又今四の清澤の地も大平町に
政と其の報酬を以てしるは其の
後りやよしと云ふも其の
代表者として其のよしを以てし
り付し一處附地は出し置るも
切なり
此の如き報りがせらるる

丁目下
しる向あり

市島海老